

第2回 横浜市国際学生会館第五期指定管理者選定評価委員会 会議録	
日 時	令和4年9月13日(火) 14時~16時30分
開催場所	市庁舎14階14-N3会議室
出席者	椛島委員長、太田委員、小山委員、中村委員、裏委員、 村林企画係長、事務職員内田
欠席者	なし
開催形態	一部非公開(傍聴者0人)
議 題	1 委員会の公開・非公開について 2 財務状況について 3 納税状況等について 4 面接審査(プレゼンテーション及び質疑) 5 指定候補者協議
決定事項	公益財団法人横浜市国際交流協会を指定候補者として選定した。
議 事	<p>開会后、事務局から出席委員の確認及び応募状況の報告を行った。</p> <p>1 委員会の公開・非公開について 面接審査までは公開、指定候補者協議から非公開とした。</p> <p>2 財務状況について 団体の財務状況は「概ね健全である」との結果が報告された。団体全体として、収入がほぼ横浜市からの受託や補助金であるため、市の動向に左右される部分が多い団体ではあるが、指定管理者の選定に際して、影響があるものではないと判断した。</p> <p>3 納税状況等について (事務局) 応募団体について、市税の滞納者ではないこと、横浜市暴力団排除措置対処に該当しないことを確認し、欠格事項に該当しない旨を報告。</p> <p>4 面接審査(プレゼンテーション及び質疑) 応募1団体が、プレゼンテーション(15分間)を行った後、質疑応答(15分)を実施した。</p> <p>&lt;委員との質疑応答&gt; (委員) コンプライアンス事案が発生した場合の責任体制と機密情報の管理について、どのような対応を行っているか。 (団体) 学生会館の責任者は館長。コンプライアンスに関する研修も行っている。コンプライアンス事案が発生した場合は、まず館内の情報を把握し、第一報として当団体に報告して対応する。また、再発防止策の検討も行う。幸</p>

い学生会館で大きな事象が起きたことはないが、万が一の時に備えて体制を整えている。

セキュリティ管理について、学生の個人情報は鍵のかかる書庫に管理し、一部の者のみアクセスできる。職員の個人情報も同様。

(委員) パソコン内のデータのセキュリティはどうなっているのか。

(団体) ファイルごとに、パスワードで管理している。

(委員) 学生が事業に協力していることは素晴らしいが、本務は学業である。

学生の負担についてどのように配慮しているのか。また、市民の国際理解に関係して、SDGsをテーマとする工夫を行ったという話だが、市立学校の希望や満足度を踏まえたのか。どのような経緯でテーマとして設定したのか。

(団体) 学生は学業第一だと考えている。事前に、事業の日時や負担などの詳細を全員に示したうえで募集している。幸いにも積極的な学生が多い。

SDGsというテーマについては学校から多くの要望があったため、その経験を踏まえてテーマとして設定した。学生も、テーマがSDGsであることを伝えると「自分のテーマはこれだ」と提案してくれる。

(委員) NGOとの連携を具体的に教えてほしい。また、地域住民としての自覚を持ってもらうことは大切である。横浜を離れても一度住んだ町への愛着をもってもらいたいと思うが、どうか。

(団体) NGOとの連携については、日本留学生宿舎財団法人協議会等と定期的に情報交換の場をもっている。新型コロナ対策や学生に必要なものなどについて密に情報交換している。また、同じ建物に地区センターがあるため、学生が協力できることはないか積極的に連絡を行っている。

2点目について、今は新型コロナの影響で地域の行事が少ないが、それ以前は地域に溶け込み地域の一員として参加していた。今後も地域の協力を得ながら、学生が「この町に住んでよかった」と思えるような取組を実施したい。

(委員) 財務状況について質問がある。会館を運営するために雇用している職員はいるか。人件費負担も教えてほしい。また、内部留保の使い方についてどう考えているか。令和4年度の予算について、予備費支出の予定は。

(団体) 雇用については、団体で採用した職員を会館に配属している。団体と会館間での人事異動もある。

内部留保と予備費には緊急対応のための費用である。学生が退館すると清掃を行うが、その際に大きな清掃が必要となる場合がある。部屋の中をすべてリフォームするような案件が過去に何度もあったため予備費を設けた。また、施設の老朽化に伴い、当初予定していない緊急修繕が発生することも想定している。

(委員) これまでに正味財産として留保しているものは、予備費の支出も含めて

すべて会館のために使うべきもので、団体の一般会計等に繰り入れることはふさわしくないと思うがどう考えるか。  
(団体) すべて会館の維持や入居者のために使い、一般会計に繰り入れることはない。

#### 5 指定候補者協議

委員により評価項目に沿って評価を行った結果、「公益財団法人横浜市国際交流協会」が、各委員の合計得点 495 点／650 点を獲得し、満点の 6 割以上を得たため、指定候補者として選定された。

#### <各委員からの意見>

- ・地域との協働という点について、もっと大きな活動を求めるべきだろうか。地域になじむという観点では、積極的に活動していると思う。
- ・指定管理業務を受ける者として、当該団体が学生会館を管理することによるメリットをもっと提案してほしい。
- ・学生に対して、地域の一員としての地域の活動への積極的な参加を促している点は評価できる。
- ・情報セキュリティについては、最近の情勢に鑑みると、より慎重な対応を求めたい。漏えい対策の研修を行う企業もあるような時代。
- ・コンプライアンスに関する意識については、団体内で報告を上げていくという話だが、対応の迅速性等を考えると、更なる向上を期待したい。
- ・財務状況について、剰余金は学生会館のためのものであり、一般会計への繰り入れを行わないという明確な回答があった。この点は業務の透明性に繋がる。